



トロント 日系人合同教会

川野真司牧師

Tel.1-905-516-0313

「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することである。」

教会暦 キリスト支配の主日

二〇〇五年十一月二〇日十一時

司会・後出吉之兄

奏楽・中村由紀姉

招き

招きの詞 ヘブライ人への手紙四章

一四、一六

讃美歌 二六七 「神はわがやぐら」

懺悔の祈り (フォルダー)

黙祷

許しの確信

神の御言葉

交読詩篇 詩篇一一七篇・一節、二節

聖書 マルコの福音書四章 三五節、四一節

説教 「夕方になって……。」

応答

牧会祈禱

主の祈り (讃美歌五六四・フォルダー)

カナダ合同教会信仰告白 (フォルダー)

讃美歌 三五四 「牧主わが主よ」

報告

平和

奉献

感謝

讃美歌 三五八 「こころみの世にあれど」

派遣祝祷

アーメン三唱

後奏

説教要旨

聖書 マルコ福音書四章三五節、四一節

「夕方になって……」

三五節に、「夕方になると」と書かれています。イエスは、病める人、苦しむ人、悩む人に神の福音を説かれ、癒し、励まされ、一日いっぱい働かれたと思います。おそらく、「夕方になると」お体は疲れてくたくたであったことでしょう。舟に乗られるとすぐに眠られました。やがて、港を出た舟は激しい突風にみまわれました。小舟ですから沈みそうになってしまいました。どうにもなりません。自然の猛威にはまったく無力でした。不安と恐れの中で、イエス様を見たのです。主は安らかに眠っておられます。立ち上がられて「黙れ、静まれ！」と言われました。嵐は静まったのです。有名な箇所です。弟子たちは二つのことを学んだと思います。一つは主イエスの平安です。この物凄い嵐の中でも安らかに眠っておられた、深い信仰はどんな時にも平安があるということ。もう一つは、いつでも主イエスを仰ぎ見るということです。弟子たちが舟出したときは夕方でしたが湖は静かでした。あるいは舟唄の一つも出たかもしれません。しかし、嵐は突如として襲いかかりました。漁師でも途方にくれるほどの波風です。彼らは必死でこの試練を乗り切ろうとしました。この時、彼らは大切なことを忘れておりました。私達もそうではないだろうか？自分の力によって解決しようとして、イエス様が一緒におられるこ

とを忘れていました。主が身近におられるのに、主が向こう岸に行こうといわれたのに、主のご計画によって歩んでいるのに、主を忘れている。そして、私達の人生の「夕方」独りで悩んでいる。そんなことが多いのではないのでしょうか。悩みが深いときほど主の助けが必要なのに私たちは別な方を向いているのではないのでしょうか。

私達の一日の夕方、私達の人生の夕方、信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを思い出すときではないだろうか。

招きの詞 ヘブライ人への手紙

四章 一四〜一六

さて、わたしたちには、もろもろの天を通過された偉大な大祭司、神の子イエスが与えられているのですから、わたしたちの公に言い表している信仰をしっかりと保とうではありませんか。この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、罪を犯されなかったが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか。

交読詩篇 詩篇 一一七篇

一節〜二節

すべての国よ、主を賛美せよ。

すべての民よ、主をほめたたえよ。

**主の慈しみとまこととはとこしえに
わたしたちを超えて力強い。**

ハレルヤ。

聖書 マルコの福音書

四章・三五節〜四一節

新約 六八頁

その日の夕方になって、イエスは、「向こう岸に渡ろう」と弟子たちに言われた。そこで、弟子たちは群衆を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。

激しい突風が起こり、舟は波をかぶって、水浸しになるほどであった。しかし、イエスは艫の方で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」と言った。イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」弟子たちは非常に恐ろしい。この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」と互いに言った。

『集いと奉仕』

『今日』

『今週』 十一月二〇日

● CWT奉仕 火曜日 十一時

金曜日 九時半

● 祈りの輪 水曜日 八時

「今年のアドベントシーズンが、豊かな恵みの方、イエスキリストをお迎えする信仰を養う事が出来ますように。」

◎ 十一月二三日 (水曜日)

三教会タスク会議 パーラ 七時

● イーホン・センター奉仕

木曜日 十時

金曜日 十時

『来週』 十一月二七日

● 葡萄の木の会 日曜日 十二時十五分

● CWT奉仕 火曜日 十一時

金曜日 九時半

● 祈りの輪 水曜日 八時

◎ 十一月三十日 (水曜日)

ムービング・コミュニティ

パーラ 七時半

● イーホン・センター奉仕

木曜日 十時

金曜日 十時

次週礼拝 十一月二七日

司会・稲葉宇多子姉 奏楽・鈴木ダニエル兄

説教題・「布にくるまれて飼う葉桶に

おかされた。」

聖書・ガラテヤの信徒への手紙一章

六節〜十節

当番・長老、寺西真妥治兄、西村登美姉

執事、森重人兄、井爪悦子姉

先のお知らせ

● 一月十五日 (日曜日)

教育伝道委員会総会 十二時半

● 一月二三日 (日曜日)

婦人会・男子会総会 十二時半

● 一月三十日

執事会予算編成 (管財委員を含む)

二七日の「葡萄の木の家」はこの場所では最後になります。

クリスマス会もかねての福引もありますので、プレゼントに出来る物がありましたらお持ちください。

ホームへのプレゼントのラッピング等をお手伝い頂ける方は、二〇日、二七日両日礼拝後階下にお集り下さい。

男子会より「蚤の市」の報告

十一月十三日に行われた新企会主催の蚤の市に当教会も参加しました。男子会と婦人会が協力してドライブラワーのセールとガレージセールを行いました。

場所代等を差引いた純益は四二〇円で、これは教会の一般会計に組入れられます。

販売には松葉兄姉、寺西兄姉、森兄姉、井上姉、董啓子姉、井爪兄姉等の協力を頂きました。また、多数の教会員および教友

の方々よりガレージセールの品物の寄附を頂きました。寄附を頂いた方々は、

西村登美、玉置賢治・光子、井上るい、為本治美、鈴木道成、田邊克彦、久芳梅子、栗山睦子、森重人、小山栄夫、寺西真妥治、井爪清明等の各兄姉です。

皆様のご協力ありがとうございました。

当番

長老 寺西真妥治兄、西村登美姉

執事 内田フデ子姉、森敬子姉